

分科会における主な意見と対応方針

主な意見	対応方針（案）
<p>目標値については、議論の中で変えていく必要がある。</p> <p>必ずしも利用者が増加するという将来とは限らない。</p>	<p>目標1 モコバス利用者数について見直しを行う。</p> <p>たとえば、「モコバスの運行キロあたりの人数」など、運行効率を評価する指標への変更を提案する。</p>
<p>居住地別のアンケート集計を行うべき</p>	<p>居住地によるクロス集計を実施</p>
<p>通勤者に対する、朝夕の時間帯の鉄道との乗り継ぎが重要である。</p>	<p>つくばエクスプレス快速，区間快速を対象に，ダイヤ改正に合わせた乗り継ぎ時間調整を取組として位置づける。</p>
<p>福祉タクシー券も含め，総合的に検討すべき</p>	<p>福祉タクシー券，福祉有償運送の実績（利用実績，公的負担実績）を整理し，交通弱者への交通施策の方向性を検討し，計画への位置づけを行う。</p> <p>（関連データの提供をお願いします。）</p>
<p>単純でわかりやすいルートにすべき</p>	<p>運行改善に向けたモコバスの再編案と，補完する交通手段を検討</p> <p>再編により，Cルート of 効率化やAおよびBルート of 利便性向上を図る。</p>
<p>待合施設，サイクルアンドバスライドについて，既存施設を活用すべき</p>	<p>待合施設の活用は，中期的な取組として，土地利用施策等と連携して具体化する。</p> <p>サイクルアンドバスライドについては，駅からの距離をもとに候補箇所を選定する。</p>
<p>大井沢地区について，地域活動と連携していきたい</p>	<p>大井沢地区やみずき野地区等，対象地域ごとに利用促進方策の具体化に向けた取組を位置づける（買い物支援，利用促進，地域共助型の交通等）</p>
<p>利用促進に向けて周知活動が必要</p>	<p>これまでの取組実績（乗車体験等）も踏まえ，利用促進に向けた取組を優先的に位置づける。</p>